

第四回定例会

平成26年度補正予算可決

「ほっとらいふ制度」暖房費補助を増額
灯油 70ℓから100ℓへ

平成26年度一般会計、国保事業、下水道事業の補正予算が全員一致で可決されました。



- ・ 低所得者支援援助費 218万6千円
- ・ 除雪委託料 9,000万円
- ・ 道路補修工事 1,250万円
- ・ 育成牧場管理料 6,082万2千円

条例の制定

標茶町農業研修センター設置及び管理に関する条例が可決されました。

条例改正

● 標茶町国民健康保険条例の一部を改正する条例の制定について

出生育児一時金を平成27年1月より、39万円から40万4千円に変更するものです。

● 標茶町立学校条例の一部を改正する条例の制定について

● 標茶町スクールバスの運行等に関する条例の一部を改正する条例の制定について
いずれも久著呂中央小中学校閉校に伴うものです。

条例の制定

● 標茶町の設置に係る一般廃棄物処理施設の生活環境影響調査結果の縦覧等の手続に関する条例の制定について

一般廃棄物処理施設の設置に係る届出及び施設の変更に係る届出に際し、生活環境影響調査や報告書等の縦覧手続並びに生活環境の保全上の見地からの意見書の提出の方法を定めることにより、一般廃棄物処理施設の

設置又は変更に関し利害関係を有する者に意見書を提出する機会を付与することを目的としたものです。

審査を厚生文教委員会に付託しました。

● 特別職の職員の給与に関する条例の特例に関する条例の制定について

町施設における不祥事の管理責任をとって、町長・副町長の平成27年1月分の給与を10%減額するものです。

条例以外

工事請負契約の締結について
・ 標茶中茶安別線道路改修舗装工事 5,972万4千円

公の施設に係る指定管理者の指定について

施設の名称／
くしろ湿原パーク「憩の家かや沼」

指定管理者名／
株式会社 標茶町観光開発公社

代表取締役 池田 裕二
指定期間／平成27年4月1日から平成30年3月31日まで

教育委員の任命について

三本 雅一氏(再任)を同意しました。



松 下 哲 也
長 尾 式 宮
菊 地 誠 道
本 多 耕 平
林 沼 俊 幸 博
黒 沼 俊 幸
後 藤 賢 勲
館 田 賢 治
鈴 木 裕 美
田 中 敏 文
熊 谷 善 行
深 見 善 迪
川 村 多美男
平 川 昌 昭

町内の空き家対策を積極的に推進すべきではないか

深見 迪議員

町長 対策を考えたい

問 空き家対策特別措置法が成立したが、町内の空き家の状況はどうなっているか。また、その状況についての課題や空き家の所有者の事情、近隣住民の苦情、要望をどの程度把握しているか。さらに、空き家についての防災や防犯、景観面での悪影響をどのように捉えているか。

答 本町において自治会等による主体的、積極的な町づくりが実践されており、所有者への勧告、命令及び代執行を行わずとも問題の解決が図られ深刻な事態にまで至っていないが現状である。税負担については都市部と違い、土地の課税標準額があまり高くない本町の場合、必ずしも税負担が重くなるとは限らない。町内会、地域の協力を得ながら情報収集に務めるのか、町が率先して行うのか考える。過疎化、人口減少が進んでいる状況は放置できなく、どのような対策が有効か、研究していく。

問 介護保険第6期の計画作成の進捗状況はどうなっているか。サービスの後退については2年間の経過措置を置くとしているが、その後はどうなるか町としての基本的姿勢を聞く。

町は、来年第6期の介護保険料値上げはやむを得ないとしているが、どの程度の値上げとなると考えているか。いわゆる「医療・介護総合法案」は、社会福祉の後退と考えるが、町民への説明責任をどう果たそうとしているか。

問 介護保険第6期の計画作成の進捗状況はどうなっているか。サービスの後退については2年間の経過措置を置くとしているが、その後はどうなるか町としての基本的姿勢を聞く。

答 今年6月に65歳以上の住民に対し高齢者生活実態調査を行い、高齢者自身とご家族の声を調査



第四回定例会では、五名の議員が九件の一般質問を行いました。質問と答弁の要旨は次のとおりです。

町政を問う

深見 迪議員

後藤 勲
議員

多和平に展望台トイレとドッグラン施設の設置を

町長 新たな設置は考えていない

問

多和平には現在、駐車場と売

店の中にトイレが設置されているが展望台にはない。標茶町においては、数少ない観光地の一つでもあり、お年寄りや身体の不自由な方々のためにも、是非、展望台にもトイレの設置を望みたい。また、他の観光地では競うようにして素晴らしいトイレがあり、観光客はそれぞれ満足感を味わっている。既存のトイレの改修についても併せて要望したい。また、多和平の売店では、しばしば物産公社が商売をしているが、最近では犬を連れた旅行者が多いため近くにドッグラン施設を設置することにより、待っている間、商品購入や食事等により売り上げがアップすると思う。先日テレビでも6軒に1匹の割合で犬を飼っているとの報道もあり、利用度アップに繋げるためにも設置できないか伺いたい。

答

新たなトイレの設置は考えていないが、展望台広場にはトイレがない旨の掲示をしていく。既存のトイレ改修は長寿命化対策を施す中で考えていきたい。ドッグランについては、民間設置の有料施設や道の駅に併設された無料施設などがあり、近隣の市町村にも設置されているが、多和平は公共牧場の敷地内にある観光施設であることから、防疫上を含め、育成牧場運営審議会に意見を聞き判断していきたい。



具体的な農業施設を求める

本多 耕平
議員

町長 関係機関が任務分担の支援すべき

問

本町における一次産業は、基幹産業として標茶町を支

え発展に尽くしてきた、池田町政2期8年そして3期目に入り新たな抱負をもち平成27年度予算編成の最中と考える。総論ではなく各論として将来を見据えた具体的な農業施策を打ち出すべきと考える。過去10年の離農の推移を見る時、戸数、農業人口はことごとく減少。このような実態の中でどのような発展施策を講じていくのか伺う。

(一) 農業振興会議などにおいて本町の過年度の酪農実態の推移を検討し、本町として農家個々の経営スタイルの展望を行政として打ち出すべきと考えるがどうか。

(二) 標茶酪農再興事業を更に増額し、事業拡大を図るべきと考えるがどうか。

(三) 政府は、経済成長戦略として地方創生を打ち出し、地方の活性化に交付金を、とあるが町長はこの

答

戦略をどのように評価しているか。また交付金を活用できる事業等があるか検討するべきと思うがどうか。

(一) 本町農業の目指すべき方向性、経営スタイルについては、総合計画や標茶町農業経営基盤強化促進基本構想で経営指標を定め酪農経営であれば5つの類型を示すこととごめている。

(二) 草地更新、バイオガスプラント、畜舎排水処理施設など事業推進を検討していく。

(三) 企業本位で進められる制度改革を注意深く見守り、本町で活用可能なメニューがあれば積極的に取り組んでいく。



建設が進むTACSしべちゃ

問

豊かさの象徴でもある消費はゴミ問題として長きに渡り国内それぞれの自治体で大きな課題となっている。

釧路管内では平成14年より釧路市・釧路町・白糠町・鶴居村・弟子屈町での1市4町村で「釧路広域連合」を組織し、ごみ処理に対応している。

本町の現在のごみ処理施設においては老朽化に伴い度重なる改修により延命がされてきたが、現在新たなごみ処理施設の計画が進められている。

本計画において重要なのは町民の利便性と環境問題対策だと考えるが、どのような経緯のもと運営方法施設の規模・運用等が計画されているのか伺う。

答 建設から19年が経過し、毎年その補修にかかる経費が増加しており、抜本的な見直しが必要と判断した。

町内ニーズに対応したごみの受け入れ、地元雇用地元からの資材確保等による経済の活性化などから町単独での施設改修を計画した。

本年度から循環型社会形成推進交付金事業により、ごみ焼却施設、最終処分場

長尾 式宮議員
標茶町の实情にあったごみ処理施設の計画を
町長 ニーズに合った計画を立てている



クリーンセンター

建設に向け、基本計画、実施計画、生活環境調査に着手したところである。

長尾 式宮議員

問 不妊治療に対する支援を

少子高齢化が大きな問題と認識されている中、支援を行う自治体も増え、現在はその自治体数も60を超え、各自治体の施策に苦勞が垣間見える。

現在指定医療機関は道内26箇所あるがそのうち15箇所が札幌市内に集中している。釧路根室管内は0箇所。標茶から一番近いところでは北見市内の2箇所である。

不妊治療に関しては様々な考えも伺っているが、標茶も過疎で悩む町の一つであれば積極的に取り組んでいくのが自治体の役目であると考える。また、指定医療機関の場所を勘案すると医療格差を是正すべき方策が必要と考える。治療に伴う交通費等の助成が望ましいと考えるが町長の所見を伺う。

答 具体的な支援を検討していきたい

現状では釧路・根室管内には特定不妊治療費助成事業指定医療機関がなく、札幌圏に集中していることから、治療費のほかに交通費の負担がかさむなどの経済的な負担が大きいのにより、不妊治療を受けづらい環境にあると認識している。

具体的にどのような支援をすべきかについて、現在開催している福祉政策検討委員会等のご意見も参考にしながら検討していきたい。



虫歯予防としてのフッ化物洗口の中止を

鈴木 裕美議員

町長 希望者には継続していく

めているから
医薬品だ。薄
は劇薬で指定
るミラノール
て使用してい
フッ化物とし
えるべきだ。
の危険性は考
使用すること
れを人為的に
るものでもそ
自然界に存在
というが、自
分布している
は自然界にも
は自然界にも

問 2010年度の12才児の虫歯本数が管内の統計で本町がワースト1の実態から、保育園児、幼稚園児に虫歯予防として3年前からフッ化物洗口を実施してきているが、その結果はどのような状況となっているのか。フッ化物洗口の実施にあたっては、保護者へのリスク説明が十分とは言えない。フッ化物は自然界にも分布しているというが、自然界に存在するものでもそれを人為的に使用することの危険性は考えるべきだ。フッ化物として使用しているミラノールは劇薬で指定医薬品だ。薄めてい

安全だとは言えない。リスクを承知の保護者はフッ化物洗口を希望していない。単に効果だけに目を向けず、疑わしきは使用せず、園児へは実施すべきではない。平成27年度から小学校で実施予定に対し教師の中から反対の声があると聞くが学校での集団フッ化物洗口は実施すべきではない。



答 虫歯予防の一つの手段として保健所や地元歯科医師の協力を得ながら保育園、幼稚園の4〜5才児の希望者に継続して実施していく。

(教育長)

全小学校の教職員説明会を町長部局と連携し、釧路教育局・釧路保健所の協力を得ながら、保護者説明会を開催し、同意が得られた場合、保育園・幼稚園の実績を踏まえ実施に向けた検討をしていく。

鈴木 裕美議員

ピロリ菌検査の実施を

問 胃がんの約98%がピロリ菌感染が原因で、ほとんどの胃がんを未然に防ぐことができるが研究者や医師は言っている。道内の自治体で中学生、高校生へのピロリ菌検査を実施が増えているが本町も中学生、高校生のピロリ菌検査(尿検査)を実施してはどうか。また、町民にピロリ菌検査の推進に努めるべきではないか。

慎重な対応と検討が必要

答 近年胃に棲息するピロリ細菌が胃がんなどと密接な関係にあるとされている一方で、除菌治療薬の副作用の報告も出されている。実施については慎重な対応と検討が必要と考える。

(教育長)

町の健康、保健推進総体に関わる施策であり、町長

部局と情報の共有に努め検討していく。

学校給食共同調理場の建替えを

問 現在の学校給食共同調理場は、築32年でありかなり老朽化している。学校給食衛生管理基準の一部が改正され、調理場は二次汚染防止の観点から汚染作業区域、被汚染作業区域、その他の区域に部屋単位で区分することとなったが本町の調理場は区分事の施設となっていない。第四期総合計画第二次3ヶ年実施計画では平成27年から2ヶ年での建替えとなっている。安全で安心な給食を提供するために早期建替えをするべきではないか。

整備方針の検討をしたい

答 (教育長) 施設改築の緊急度や財政事情を考慮した場合、整備年次を明言できないところに至っていないが、今後町長部局と整備方針の検討をしていく。

